

会議録（概要）

会議名等	第1回 四街道市子ども読書活動推進計画策定委員会				
年 月 日	令和7年8月27日（水）		時 間	14：00～15：50	
場 所	四街道市役所第二庁舎第2会議室				
出席者	委 員	渡辺委員	村上委員	林委員	谷嶋委員
		水野委員	秋山委員	大塚委員	山田委員
		下山委員	齋藤委員	水口委員	平田委員
	事務局	伊藤指導課長	田村指導主事	猪谷指導主事	
欠席者	0人				
傍聴人	1人				
委嘱状交付					
—— 会議次第 ——					
1 開会					
2 教育委員会挨拶					
3 会長・副会長選出					
4 議題					
議題1 第五次推進計画策定にあたって					
議題2 「読書に関するアンケート」の実施について					
5 諸連絡					
6 閉会					
—— 会議要旨 ——					
1～2 会議次第に従い進行 伊藤課長					
3 会長・副会長選出					
事務局：四街道市子ども読書活動推進計画策定委員会の会長及び副会長の選出にあたり、座長を教育長にお願いする。					
座長(教育長)：会長、副会長の選出につきましては、四街道市子ども読書活動推進計画策定委員会設置要綱第4条の規定に、「委員の互選によって定める」こととなっているが、いかがか。					
委 員：事務局一任。					
事務局：会長には学校現場から「村上委員」に、副会長には学識経験者から「渡辺委員」にお願いしたい。					
座長(教育長)：事務局からの提案でよろしいか。					

委員：異議なし。

座長(教育長)：それでは、会長を「村上委員」、副会長を「渡辺委員」にお願いする。

4 議題

(1) 第五次推進計画策定にあたって

平田委員：(四街道市子ども読書活動推進計画(第五次)策定にあたってP3(2)多様な子どもたちの読書機会確保の必要性)

相対的貧困状態やヤングケアラーの子の数はどのくらい。

事務局：関係部署に確認し、数を把握することができていれば、次回の委員会で報告する。

下山委員：(四街道市子ども読書活動推進計画(第五次)策定にあたってP2(2)目標とする数値について①図書館・公民館における児童書貸出冊数②学校図書館における児童生徒一人あたりの貸出冊数)

①については、令和元年と令和6年を比較すると少し減っている。

②については、増えている。

小学生の人数の増減はどのような状況か。

事務局：四街道市では年々増えており、推計では、令和9年が最も多くなる見込みである。

渡辺副会長：(四街道市子ども読書活動推進計画(第五次)策定にあたってP14計画の概要)
「『子ども』とは、おおむね18歳以下の者をいう」とあるが、策定委員に高校の委員は、入らないのか。

事務局：県立高校には「読書に関するアンケート」を依頼する。

県立高校では、千葉県の推進計画をもとに取組を行っていることもあり、委員は依頼していない。

県立高校とは、適宜、連絡を取り合いながら策定を進める。

村上会長：(四街道市子ども読書活動推進計画(第五次)策定にあたってP36子どもの読書環境を取り巻く情勢の変化(1)教育におけるデジタル化の進展)
タブレット端末へのデジタル書籍の配信については、どのような状況か。

事務局：現在、学校図書館にはデジタル書籍はないが、市立図書館にはあるため、児童生徒はタブレット端末を使い、市立図書館のデジタル書籍を読むことができる。

齋藤委員：市立図書館ではデジタル書籍の数は多くない。

費用も高く、数を増やすのは難しい状況である。

また、デジタル化されていない書籍もまだまだ多くある。

（２）「読書に関するアンケート」の実施について

渡辺副会長：（児童生徒用アンケート P 2 7「本を読むことが好きではないのはなぜですか」）
第四次計画と選択肢が違うが、なぜ変えたのか。

事務局：「読む時間がない」というのは、好き、または嫌いという理由ではないことから、
選択肢を変えた。

渡辺副会長：たとえば、「読む時間がない」という回答が多ければ、読書タイムを充実させたり、
「読みたい本が選べない」ならば司書の方々に増やしていただいたりといったこと
ができる。

しかし、この質問だと、回答後の手立てを導き出しにくくなってしまうのではない
か。

読みたいのに読めない子をどうするのかについて考えらえる設問のほうがよいので
はないか。

平田委員：児童生徒用アンケート P 1 の 3・4 で、読書時間について満足しているか、満足し
ていないのはなぜかを聞いているが、これは 1 の設問で肯定的でない回答をした場
合、答えないということか。

事務局：その通りである。

3 と 4 の設問は、1 の設問で肯定的な回答をした人しか答えないので、1 の設問で
肯定的ではない回答をした人は、次は 7 の設問を答えることになる。

下山委員：前回アンケートの設問の選択肢のほうが手立てにつながるという渡辺副会長の意見
に納得した。

しかし、ただ、漠然と好きか嫌いかを尋ねた時、好きではないと回答した一定数の
人が、今回、新たに追加された「字を読むのが苦手」「読むのが面倒」と思ってい
ることもあると思われる。

前回アンケートで「その他」として回答した中に多かったことから、そういった
現状が予想できる。

そこで、今回は、前回アンケートの選択肢に、事務局案を加えてみてはどうだろう
か。

村上海長：今回のアンケートの選択肢に、前回のアンケートの選択肢も加えてみてはどうだろうかという意見が出たが、その他に何か意見はあるか。

林 委 員：このアンケートは小学校２年生も回答するが、「その他」で入力することは難しいと思われる。選択肢が多く、そこから選択できるとよい。

渡辺副会長：前回アンケートの選択肢に第四次計画に向けてのアンケートで回答された「その他」の意見を付け加えるとよいのではないか。

事 務 局：そのようにしたい。

山田委員：（児童生徒用アンケート冒頭部）

「このアンケートについては、教科書や参考書、マンガや雑誌は除きます」という文言は、学習マンガはあまり好ましくないという考え方からか。

事 務 局：そうではない。いわゆるコミック本は除くという意図で、たとえば「マンガで学ぶ歴史」のようなものは「除く」対象ではない。

谷嶋委員：おそらく、児童生徒からは同様の質問が出ることが予想される。

その際、学級担任の答え方によって結果が大きく変わってくる可能性がある。

林 委 員：「学校図書館にある学習マンガならよい」等がアンケート内に示されるとよいのではないか。

事 務 局：「学校図書館にあるものはよい」と示す。

水口委員：（児童生徒用アンケートP 6 19「授業で本を使う学習活動は好き（楽しい）ですか」）

現在、学校では本を使う学習とタブレットを使う学習で、どちらが多いのか。

林 委 員：小学校は、国語の教科書等に「図書館で調べよう」とあり、特に低学年は、まず本を使う。

学年が上がってくるとＩＣＴも活用するが、まず本で調べることが多い。

その不足部分でＩＣＴを使うことがある。

谷嶋委員：中学校ではタブレットを使う方が多いと思う。

教科によって異なるが、国語や社会、理科では、本を使うことが多いが、その他の教科はタブレットが多いと思う。特別支援学級では、本を使うことが多い。

山田委員：小学校は学校図書館で調べるが、本がない時はタブレットを使っている様子が見られる。

村上会長：幼稚園や保育園ではどうか。

水野委員：幼稚園では、タブレット等ではなく、本が中心である。

花や乗り物のことなど、本を読んで気になってお話してくれることがある。

秋山委員：保育所では、外で見た植物を図鑑で調べるような活動がある。

さらに、読み聞かせなども行っている。

村上会長：ボランティア団体ではどうか。

大塚委員：読み聞かせでは、ボランティア側から、調べ学習につながるような提示をすることがある。

水口委員：小学校では本を使うことが多いが、中学校では少ないということなので、好きか嫌いかという以前に、この質問には少し答えにくいのではないか。

先生方が、本を使った学習活動をしているかどうか、回答に影響するかもしれないので、実態に沿った内容になることが大切である。

しかし、問いかけ方は前回アンケートと異なるので、前回アンケートと同じような感覚の回答はこないかもしれないが、問いかける意味はあると思う。

どういった結果になるのか、今回のアンケートの結果を見るのが楽しみである。

事務局：アンケート内容を「調べ学習」から「授業での本を使う学習活動」へ変更した理由は、事務局の指導課で、授業の中で学校図書館を活用することに重点を置いているためである。

また、前回アンケートの「調べ学習」という文言では、小学校2年生が答えにくいと思われる。小学校低学年でも本を活用したいろいろな学習活動が考えられる。

渡辺副会長：アンケートを行う先生に、事務局の意図が伝わらないかもしれない。

学校図書館から先生が本を持ってきて紹介するだけでも学校図書館の活用となることを、先生方に分かるように例示してもよいのではないか。

先生方によっても、学校図書館の活用度が違うと思われる。

アンケートの最後に、「今年度、楽しかった学校図書館を使った学習活動」を加えてもよいかもしれない。

谷嶋委員：「調べ学習」から「本を使う学習活動」に変わってよかったと思うが、どの教員も同じ解釈ができるようにしてほしいと思う。

事務局：補足説明を入れるようにする。

事務局：保護者用アンケートについて、児童生徒用アンケート7にあたる設問は、保護者用アンケートでは4にあたる。

これも、児童生徒用と同様に、前回アンケートから変更しようと考えているが、いかがか。

各委員：同じ形がよい。

事務局：そのようにする。

5 諸連絡 事務局

今回の策定委員会は令和8年2月3日（火）14時から四街道市役所第二庁舎第2会議室での開催を予定している。

内容は、読書に関するアンケートの結果や第四次計画成果と課題についての協議、策定スケジュールの協議である。

期日が近くなったら開催案内を送付し、会議資料は、開催日1週間前に送付する。

また、次回以降、策定委員会には、第四次推進計画の冊子をご持参するようお願いする。

6 会議次第に従い進行 伊藤課長

会議録署名人